

## 日本気象学会第23期役員選挙告示

現在の役員は、昭和59年7月で2年の任期が満了となりますので、定款に従い、次の要領で次期役員選挙を行います。

### 1. 選出する役員

理事 27名

監事 2名

### 2. 立候補および候補者推薦の届出

#### イ. 候補者の資格

昭和59年4月1日現在の通常会員

#### ロ. 届出方法

立候補する者および候補者を推薦する者は、次の書類を付し、選挙管理委員会に届ける（郵送でもよい）。

i) 候補者氏名、生年月日、所属機関、卒業学校名と卒業年次、種別（理事、監事の別）。

ii) 候補者を推薦する場合は候補者の承諾書。

iii) 候補者の所信、とくに、気象学会が当面していると思われる重要問題について具体的な考え方を400字以内にまとめたもの。

#### ハ. 届出締切

昭和59年4月23日までに選挙管理委員会に必着のこと。

#### ニ. 宛名

〒100 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁予報部電子計算室気付 日本気象学会選挙管理委員会

#### ホ. 候補者の資格審査

選挙管理委員会は、前項に従って届出された立候補者および推薦候補者の資格審査を、昭和59年4月24日に行い、公示する。

#### ヘ. 候補者名簿は受付順とする。

### 3. 投票

#### イ. 有権者資格

昭和59年4月1日現在の通常会員

#### ロ. 候補者名簿および投票用紙

昭和59年5月下旬にこれらを送付しますから、6月15日までに到着しないときには、直ちに選挙管理委員会に申し出てください。

#### ハ. 投票期日

昭和59年7月2日までに選挙管理委員会に必着のこと。

#### ニ. 投票方法

理事、監事別に連記無記名文書投票とする（方法の詳細は投票用紙と共に送ります）。

### 4. 開票および結果の告示

#### イ. 開票期日

開票は昭和59年7月3日気象庁内で行います。会員はこの開票に立ち会うことができます。

#### ロ. 開票結果の告示

開票結果は、当日発表し、かつ、「天気」7月号に公示します。

昭和59年1月17日

日本気象学会選挙管理委員会  
東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁予報部  
電子計算室内(TEL. 03-212-8341 内線 333)  
(委員長) 多田利義  
(委員) 上野達雄, 加藤政勝, 沢井哲滋,  
篠原吉雄, 土屋 喬, 中村晃三,  
牧原康隆, 馬淵和雄  
(アイウエオ順)

### 定款及び細則（抜粋）

#### 定款第14条

理事および監事は、次に定めるところに従い、通常会員のうちから通常会員の無記名投票によって選挙する。

1. 理事は、細則に定める地区毎の定数を全国の通常会員が選挙する。

2. 監事は通常会員の互選で定める。

定款第19条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。役員に欠員を生じたときは、細則で定める次点者をもって補い、補欠役員任期は前任者の残任期間とする。役員は、その任期満了後でも後任者が就任するまでは、なおその職務を行う。

#### 細則第7条

1. 各地区の理事の定数は、各地区の会員数に応じ、次のとおりとする。ただし、関東地区については、この法人の事務の円滑な運営をはかるための定数を次のとおり加算する。

北海道地区（北海道）……………2名  
東北地区（宮城県, 岩手県, 青森県, 秋田県,  
山形県, 福島県）……………2名

関東地区（東京都，神奈川県，千葉県，茨城県，  
埼玉県，群馬県，栃木県，新潟県，山  
梨県）…………… 8名 加算分 5名  
中部地区（富山県，石川県，福井県，長野県，  
静岡県，愛知県，岐阜県，三重県）  
…………… 2名  
関西地区（大阪府，京都府，滋賀県，和歌山県，  
奈良県，兵庫県，鳥取県，島根県，岡  
山県，広島県，香川県，愛媛県，徳島  
県，高知県）…………… 4名  
九州地区（山口県，福岡県，佐賀県，長崎県，  
大分県，熊本県，宮崎県，鹿児島県）

…………… 3名  
沖縄地区（沖縄県）…………… 1名  
2. 監事は，通常会員の中から2名互選される。  
3. 通常会員は，理事および監事に立候補することが  
できる。  
4. 他の通常会員によって書面により理事および監事  
に推薦され，かつそれを承認した通常会員は，推薦  
候補となることができる。  
5. 理事および監事は，立候補者および推薦者以外の  
通常会員からも選挙される。  
6. 理事および監事の選挙は，それぞれ種類別に連記  
する無記名文書投票とする。

昭和59年度朝日学術奨励金推薦・応募要領

1. 本奨励金の贈呈対象は，個人，グループ，団体を問  
いません。独創的な研究で研究費に恵まれない研究  
者の応募を期待します。いくつかの学問領域にまた  
がる，いわゆる「学際研究」も歓迎します。
2. 対象となる研究は，継続中のものでも，これから始  
めるものでも結構です。また同じ研究に対して継続  
して贈呈する場合があります。
3. 応募は原則として学会の関係者からの推薦が望まれ  
ています。「昭和59年度朝日学術奨励金候補推薦・  
応募票」は，

〒100 東京都千代田区大手町 1-3-4  
気象庁観測部 竹内 清秀  
TEL. (03) 212-8341 内345

- まで御請求下さい。
4. 奨励金の希望金額には，特に制限はありません（な  
お，昨年度の贈呈金額は8研究に対して合計1240万  
円でした）。
  5. 朝日新聞社内に設けられた選定委員会が，候補研究  
につき学界各方面の意見をきき，選定します。
  6. 締切は2月29日（朝日新聞社到着）です。

正 誤 表 （下記の通り誤植がありましたのでお詫びして訂正させていただきます）

巻 号	頁	行	誤	正
30. 11	570	左 1	期日 5月23日(火)～25日(木)	期日 5月23日(水)～25日(金)
30. 11	添付申込用紙	1	日本気象学会秋季大会講演申込用紙	日本気象学会春季大会講演申込用紙